

令和3年10月15日（金）

育友会会員のみなさま

部活動検討委員会

第5回部活動検討委員会議事録について（案）

＜参加者＞ ※出席者に☒ 令和3年9月29日（水）18:30～20:35 鳥越中学校体育館研修室にて
☒中川会長 ☐上野 副会長 ☒大坪 副会長 ☐坂田 ☒福田 ☒紺谷 ☐澤崎
☒中村 ☒東 ☐重田 ☒清水（進行） ☒久司校長 ☒石田教頭（記録） ☒山岸

＜話し合われた内容＞

1 挨拶 久司校長

2 議題

（1）前回の内容と決定事項の確認

- ・今後のスケジュールは別紙のとおりとする。（スケジュールは前回議事録に記載）
- ・事前に今回の議事録と今後のスケジュールを生徒に見てもらった後、2つの部活動についての客観的、建設的な意見を出してもらう。

（2）生徒の意見、育友会会員等の意見を確認

＜生徒が前回議事録を読み、数日後に意見交換をした後に書いた文章を読んで＞

- ・自分の子供に本音を聞くと「部活動をしたくない」と言っていた。それでも、しなくてはならないことになっているから、その制約の中で書いたと言っていた。そんな人はほかにもいるのではないか。また、意見を聞かないでほしいと書いている生徒もいる。前回にスケジュールが示されたことから、当事者意識が薄い印象のコメントがある。当事者意識が持てるように今後、話をしていく必要がある。
- ・自分の子供に聞いてみたら、最後までやれるならそれでいいと言っていた。後は部活動検討委員会に決めてもらえばいいとも言っていた。陸上部と卓球部で良いという意見がほとんどであり、結論は見えてきたのではないか。
- ・読んで、転部は難しい問題だと思った。
- ・近所の6年生はバドミントン部に入りたいらしい。この子たちだけかもしれない。
- ・今の生徒たちは続けられることが分かって安心したのだと思う。
- ・自分の子供は「なぜ何回も聞くのか」と言っていた。よく考えて意見を出したのでこれでよいということだと思う。
- ・意見がまとまったと思う。持続可能な部活動になれると思う。だが、先ほどの意見にあったように、「この地域のために」という考え方になっていてほしかった。今後も、生徒の強い思いがある時には、まず話を聞いてあげてほしい。そこから話し合いで決めていく過程を学校には大切にしてほしい。
- ・陸上大会にこれまで全員出ていたが、これからどうなるのか。

- ・来年度、剣道部の生徒が陸上大会に出ることは、他の学校も行っているので可能にならないか。
- ・6年の子と親から部を兼ねてよいのかということは聞かれた。剣道を続けたいが悩んでいる。
- ・来年の1年生が陸上部に入っていて、剣道の大会だけ出場することも可能になるのか。
- ・現在、卓球部に入っていないながら陸上の大会に出場している。これまでも陸上部だけでなく学校選抜などで他の部活動所属者の参加を認め、運動を推奨してきた経緯が白山市内全体にあったためである。この流れを変える必要性はないのではないか。
- ・2つの部活動に所属することはこれまでは認めていない。陸上競技大会のように出場できるように、大会出場については可能であれば認めていけばよいのではないか。陸上部に所属しているが、卓球部の助人で出場はどうするのか。
- ・11月の臨時総会の時に詳しく説明するのではなく、「これまでも活動してきたクラブチームを中学校でも続けたいがどういう方法があるか？」などの場合は相談してくださいと伝えるのがよいのではないか。
- ・転部については、どうしてもという人には考えてあげるのがよい。転部理由書をしっかりと書いていけば、認める方向でもよいと思う。
- ・帰宅部は何故いけないのかという視点もある。時間は誰にでも平等にあるがその使い方を考えられる人になってほしい。それを考えるためにも自由に転部できることにし、転部理由書があることで気軽に考えることを防ぐという方法もある。
- ・転部についても生徒同士が話し合っただけで決めることもよいのではないか。
- ・部活動内で転部により練習が成立しない、団体戦に出られないなどになると話し合いではなくなるのではないか。
- ・「原則、転部はなしとしますが、どうしても転部したい場合は先生に相談してください」と臨時総会で伝えてはどうか。
- ・その時は、あの子が転部出来て、あの子は転部が出来なかったとならないようにしてほしい。

(3) 新体制について

- ・持続可能な部活動として陸上部と卓球部に決定する。個人競技のため続けやすく、山麓地域内で交流ができ、高めあう関係になることが望める。
- ・これまで活動してきたクラブチームを中学校でも続けたいなどの相談は学校にしてください。
- ・原則、転部はなしとしますが、どうしても転部したい場合は先生に相談してください。

(4) 臨時総会について

- ・11月19日（金）授業参観・教育講演会・臨時総会の案内文を出す際に、今回の議事録を同時に配付する。
- ・臨時総会では経緯・決定事項の報告と共に質疑応答の時間を設ける。

3 閉会の挨拶 清水副会長

<次回> 11月19日（金）臨時育友会総会